

### 1. 企画趣旨

本研究会は、本学の抱える諸問題・課題、社会情勢及び教育政策の動向やその対応等について、学内外から講師を迎え、参考となる話題を提供してもらい、本学の管理運営、教育研究の改善・改革等に資することを目的としている。2021（令和3）年度は10年目を迎え、ハラスメント防止、研究活動におけるコンプライアンス、認証評価の評価ポイント、オンライン授業、キャリア教育と専門教育の融合、就職活動の動向と見通しに関する講演会を、年間で計5回にわたって開催した。

### 2. 実施概要（開催日時・テーマ・参加者数）

本研究会の開催数は、初年度である平成24年度には6回、平成25年度に4回、平成26年度に5回、平成27年度に2回、平成28年度に第4回、平成29年度に8回、平成30年度に6回、令和元年度に5回、令和2年度に6回、2021（令和3）年度は第47回目からの開催となる。

#### 「第47回 大学問題研究会」

日時：2021年5月20日（木）16時～

実施方法：Zoomミーティングによるライブ配信

講師：株式会社シー・イー・アイ 白石美和氏

テーマ：「ハラスメント防止研修」

参加者数：224名（教員150名、職員74名）

#### 「第48回 大学問題研究会」

日時：2021年10月21日（木）16時30分～

実施方法：Zoomミーティングによるライブ配信

講師：NPO法人「グッド・エイジング・エールズ」代表 松中権氏

テーマ：「はじめてのLGBTQ-自身のパーソナルストーリーを通して」

参加者数：235名（教員160名、職員75名）

#### 「第49回 大学問題研究会」

日時：2021年11月18日（木）16時30分～

実施方法：Zoomミーティングによるライブ配信

講師：特別支援教育研究所長 中西郁教授

テーマ：「障がい学生への学修等の支援について」

参加者数：225名（教員152名、職員73名）

#### 「第50回 大学問題研究会」

日時：2021年度12月16日（木）16時30分～

実施方法：Zoomミーティングによるライブ配信

講師：株式会社ベネッセコーポレーション大学・社会人事業開発部 芝谷康平氏

テーマ：「大学教育における数理・データサイエンス・AI教育—本学での共通教育に向けて—」

参加者数：225名（教員153名、職員72名）

#### 「第51回 大学問題研究会」

日時：2022年2月17日（木）16時30分～

実施方法：Zoomミーティングによるライブ配信

講師：亀田温子名誉教授、宮城道子名誉教授

テーマ：「創立100周年史編纂から見えたこと、伝えたいこと」

参加者数：231名（教員151名、職員80名）

### 3. まとめ

本研究会は、FD・SD 活動の一環として位置付けられた全学的な取組である。定期的かつ継続的に行うことで、大学の教職員として必要とされる知識を深め、ひいては大学全体としての共通認識を涵養することで、理念の実現に繋げるものである。

実施された講演はいずれも高度な専門領域における内容であったが、近年の大学教育改革及び社会の多様化といった背景において、本学の学校運営にいずれも不可欠なものであったといえる。

講演会の実施方法については、新型コロナウイルス感染防止対策の観点からいわゆる「三つの密」（密閉・密集・密接）を回避する必要性が生じたため、オンラインでのライブ配信やオンデマンド形式に切り替えた。さらに、当日の講演会の録画を配信するフォロー研修期間を設定したことにより、非常勤講師を含むより多くの教職員の参加が可能になった。

次年度以降も、学内委員会等との連携・共催により、問題を多角的な視点から捉え、かつ焦点を明確にしたFD・SD 研修会の開催が期待される。